

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成29年9月28日 (2017.9.28)

【公表番号】特表2016-538660(P2016-538660A)
 【公表日】平成28年12月8日 (2016.12.8)
 【年通号数】公開・登録公報2016-067
 【出願番号】特願2016-542841(P2016-542841)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/10 (2012.01)

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 Q 50/10

G 0 6 F 13/00 5 1 0 A

【手続補正書】
 【提出日】平成29年8月16日 (2017.8.16)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

コンピューティングデバイスに関連付けられるメモリエリアであって、該メモリエリアは、ユーザに関連付けられる 1 つ以上のデバイスを、該ユーザとインターネットサービスプロバイダとの間の加入契約に関連付けるための 1 つ以上の基準を格納し、前記加入契約は、前記インターネットサービスプロバイダによって提供される 1 つ以上のサービスに関連する、メモリエリアと；

前記デバイスのうちの 1 つ以上のデバイスとネットワークとの間の接続を経時的にモニタして、前記インターネットサービスプロバイダを通した前記ネットワークへの接続の頻度と継続期間である接続統計値を生成することであって、前記ネットワークは、前記インターネットサービスプロバイダによって提供される前記 1 つ以上のサービスのうちの少なくとも 1 つを供給することと、

前記生成された接続統計値を、前記メモリエリア内に格納された前記基準と比較することと、

前記比較に基づいて、前記 1 つ以上のデバイスのうちの少なくとも 1 つのデバイスを前記加入契約に自動的に関連付けることと、

を行うようにプログラムされるプロセッサと；

を備える、システム。

【請求項 2】

前記 1 つ以上のサービスは、前記インターネットサービスプロバイダに関連付けられるホットスポットを含み、前記少なくとも 1 つのデバイスを前記加入契約に自動的に関連付けることは、前記ユーザが前記少なくとも 1 つのデバイスを前記インターネットサービスプロバイダに手動で関連付けることを必要とせずに、前記少なくとも 1 つのデバイスが前記ホットスポットにアクセスすることを可能にすることを備える、

請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記プロセッサは、対象のコンテンツアイテムをダウンロードするよう前記ユーザを促すように更にプログラムされ、前記対象のコンテンツアイテムは、アプリケーション、プ

ッシュ広告又はプッシュ証明書のうちの少なくとも1つを含む、
請求項1又は2に記載のシステム。

【請求項4】

前記生成される接続統計値は、平均接続継続期間と最後に成功した接続からの時間との組合せを使用して計算されるドウェルスコアを含み、前記1つ以上のデバイスは、前記計算したドウェルスコアが所定の閾値を超えるとときに、前記ネットワークとの長期ドウェルを有するものとしてタグ付けされる、

請求項1乃至3のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項5】

前記の関連付けに応答して、前記プロセッサは、前記1つ以上のデバイスのうちの関連付けられた前記少なくとも1つのデバイス上で、予めロードされたアプリケーションをアクティブにするか、前記インターネットサービスプロバイダからアプリケーションをダウンロードするか、異なるインターネットサービスプロバイダに関連付けられるインストール済みのアプリケーションを除外するように更にプログラムされる、

請求項1乃至4のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項6】

前記自動的に関連付けられるデバイスのうちの少なくとも1つが、前記ネットワークに初めて接続する、

請求項1乃至5のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項7】

前記比較は、前記1つ以上のデバイスのうちの前記少なくとも1つのデバイスが前記ユーザに関連付けられることを特定する信頼因子を決定し、前記プロセッサは、前記信頼因子が所定の閾値を超えるとときに前記1つ以上のデバイスのうちの前記少なくとも1つのデバイスを前記加入契約に自動的に関連付けるようにプログラムされる、

請求項1乃至6のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項8】

プロセッサによって、ユーザに関連付けられる第1のコンピューティングデバイスについての、インターネットサービスプロバイダを通したネットワークへの接続の頻度と継続期間である接続統計値にアクセスするステップであって、前記接続統計値は、前記インターネットサービスプロバイダによって提供される1つ以上のサービスを供給するネットワークとの前記第1のコンピューティングデバイスの接続を表し、前記ユーザは、前記インターネットサービスプロバイダによって提供される前記1つ以上のサービスへの加入契約を有する、ステップと；

前記接続統計値を1つ以上の基準と比較することに基づいて、前記第1のコンピューティングデバイスを前記加入契約に自動的に関連付けるステップと；

を備える、方法。

【請求項9】

前記インターネットサービスプロバイダによって提供される前記1つ以上のサービスを供給するネットワークに接続することによって、第2のコンピューティングデバイスが自動的に関連付けられる、

請求項8に記載の方法。

【請求項10】

前記第1のコンピューティングデバイス又は第2のコンピューティングデバイスが、前記インターネットサービスプロバイダによって提供される前記1つ以上のサービスを供給する他のネットワークに自動的に関連付けられ、前記他のネットワークの第1の位置は、前記ネットワークの第2の位置とは異なり、前記ネットワークは、接続統計値がアクセスされる前記インターネットサービスプロバイダに関連付けられる複数のネットワークのうちの1つであり、前記他のネットワークは、前記第1のコンピューティングデバイス又は前記第2のコンピューティングデバイスが初めて接続している前記インターネットサービスプロバイダに関連付けられる複数のネットワークのうちの1つである、

請求項 8 又は 9 に記載の方法。

【請求項 1 1】

ユーザアカウントデータに基づいて、第 2 のコンピューティングデバイスが前記ユーザに関連付けられていると決定し、該決定に基づいて、前記第 2 のコンピューティングデバイスを前記加入契約に自動的に関連付けるステップ、

を更に含む、請求項 8 乃至 10 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 1 2】

前記 インターネットサービスプロバイダ によって提供される前記 1 つ以上のサービスの利用可能性を前記第 2 のコンピューティングデバイスに通知するステップと；

前記通知の受容を受け取ったことに応答して、前記第 2 のコンピューティングデバイスを前記加入契約に自動的に関連付けることによって、前記 インターネットサービスプロバイダ によって提供される前記 1 つ以上のサービスを前記第 2 のコンピューティングデバイスに供給するステップと；

を更に含む、請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】

コンピュータ実行可能なコンポーネントを記憶する 1 つ以上のコンピュータ記憶媒体であって、前記コンポーネントは：

少なくとも 1 つのプロセッサによって実行されると、該少なくとも 1 つのプロセッサに、1 つ以上のデバイスと、インターネットサービスプロバイダ に関連付けられる複数のネットワークのうちの 1 つ以上 のネットワーク との間の接続をモニタさせる、モニタリングコンポーネントと；

少なくとも 1 つのプロセッサによって実行されると、該少なくとも 1 つのプロセッサに、前記モニタリングコンポーネントによる前記接続のモニタリングに基づいて、前記インターネットサービスプロバイダを通した前記 1 つ以上のネットワークへの接続の頻度と継続期間である接続統計値を生成させる、統計値コンポーネントと；

少なくとも 1 つのプロセッサによって実行されると、該少なくとも 1 つのプロセッサに、前記生成された統計値に基づいて、前記 インターネットサービスプロバイダ に関連付けられる前記複数のネットワークのうちの前記 1 つ以上にアクセスするよう、前記 1 つ以上のデバイスがユーザの加入契約に関連付けられることを推論させる、加入コンポーネントと；

少なくとも 1 つのプロセッサによって実行されると、該少なくとも 1 つのプロセッサに、前記推論に基づいて、前記 1 つ以上のデバイスを、前記 インターネットサービスプロバイダ に関連付けられる前記複数のネットワークのうちの少なくとも 1 つに関連付けさせる、関連付けコンポーネントと；

を備える、コンピュータ記憶媒体。

【請求項 1 4】

少なくとも 1 つのプロセッサによって実行されると、該少なくとも 1 つのプロセッサに、前記ユーザ に対する対象のコンテンツを前記 1 つ以上のデバイスに通知させる、通知コンポーネントを更に備え、前記対象のコンテンツは、アプリケーション、プッシュ広告又はプッシュ証明書の中の少なくとも 1 つを含む、

請求項 1 3 に記載のコンピュータ記憶媒体。

【請求項 1 5】

前記加入コンポーネントは、前記複数のネットワークのうちの前記 1 つ以上をウォッチリストに追加し、前記関連付けコンポーネントは、前記 1 つ以上のデバイスを前記ウォッチリスト内のネットワークに自動的に関連付ける、

請求項 1 3 又は 1 4 に記載のコンピュータ記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0091

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0091】

本開示に係る側面は、ユーザに関連付けられるものとして識別されるデバイス102が、ホットスポット104に自動的に関連付けられることを説明するが、一部の例では、基準212の通りの関係を有するユーザのデバイス102も、ホットスポット104に関連付けられる。例えば家族内のデバイス102のユーザの関係を決定する際に、家族及び／又は（当技術分野で公知の技術によって決定される）親しい友人のメンバー全てのデバイス102が、ホットスポット104によって自動的に関連付けられる。このシナリオでは、認証情報を供給する必要なく、世帯の全てのデバイス102をホットスポット104に関連付けることができる。